

か  
わ  
じ  
ま



# 議会だより

9月定例会

No.111

平成 27 年 10 月 23 日

8月臨時会審議結果

9月定例会審議結果

委員会の動き

一般質問 町の考え方を問う



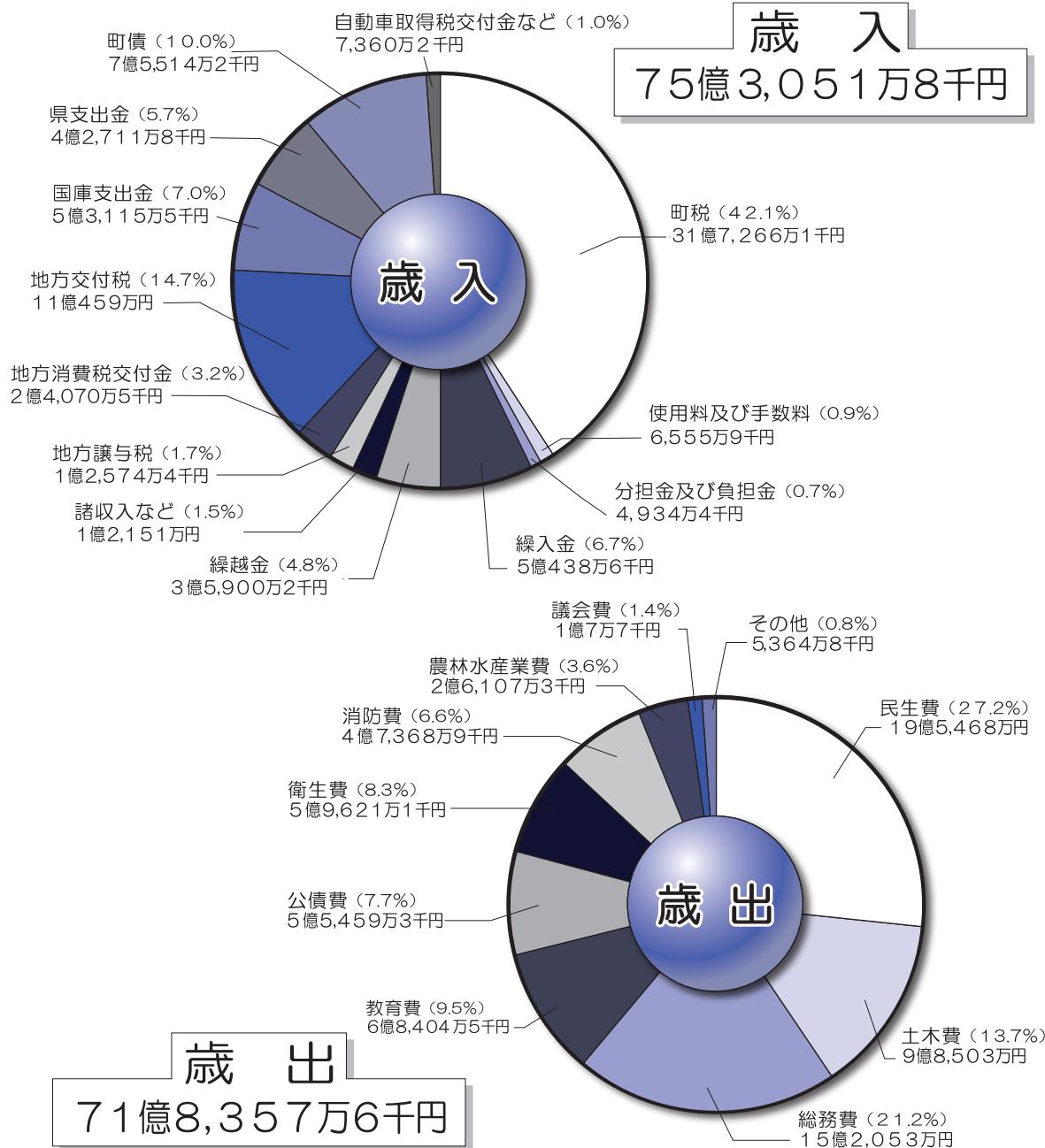
彼岸花（曼珠沙華）：上伊草地内

# 9月 定例会

9月3日～16日

## 決算認定!!

平成26年度 一般会計歳入・歳出決算



一般会計決算など17議案を審議

# まち財政運営は健全

# 平成26年度

## 平成26年度 特別・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険特別会計	28億3,033万6千円	26億2,726万4千円	2億307万2千円
学校給食費特別会計	8,337万5千円	8,304万7千円	32万8千円
下水道事業特別会計	4億8,420万9千円	4億7,809万4千円	611万5千円
介護保険特別会計	15億4,513万2千円	15億633万2千円	3,880万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,722万8千円	1億6,449万6千円	273万2千円
合計	51億1,027万9千円	48億5,923万4千円	2億5,104万5千円
水道事業会計	事業収益	事業費用	純利益
	4億8,705万7千円	4億9,699万円	▲993万4千円
	資本的収益	資本的支出	収支差引額
	4,422万1千円	1億2,770万円	▲8,347万9千円

\*水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

●構成団体：東松山市、桶川市、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町、  
●設立年月日：平成27年4月1日  
●稼働予定：平成33年度  
※埼玉中部資源循環組合とは、可燃ごみ及び粗大ごみの処理施設の建設及び管理運営を共同処理する一部事務組合です。

(全員賛成・可決)

■議案第45号 埼玉中部資源循環組合への川島町の加入について  
町のごみ処理施設は、昭和54年に運転を開始して、老朽化が著しくなっています。町単独では新たな施設の建設、その後の維持管理が困難なことから、加入するものであります。なお、構成8市町村でも川島町の加入について、9月議会で決しました。

## 一部事務組合への加入

平成27年8月臨時会は、8月27日の会期1日間で開催されました。議題は、一部事務組合への加入1件を審議しました。議案の審議結果は次の通りです。

## 8月臨時会

### 議案審議結果

9月

# 定例会議案審議結果

平成27年9月定例会は、9月3日から9月16日までの会期14日間で開催されました。主な議題は、報告4件、条例の一部改正3件、補正予算5件、決算認定7件、契約の締結1件、人事案件1件を審議しました。また、一般質問は10人が登壇し活発な質問が展開されました。

主な議案の審議結果は次の通りです。

## — 主な議案 —

### 条例

#### ■議案第46号 川島町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律が施行されることに伴い改正するものです。

(賛成多数・可決)

#### ■議案第47号 川島町事務手数料徴収条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律が施行されることに伴い、通知カード及び個人番号カードの再発行に係る手数料を新設し、住民基本台帳カード交付手数料を廃止するものです。

(賛成多数・可決)

#### ■議案第48号 川島町地区計画区

区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

三島地区地区計画区域内の敷地、構造、用途、緑化に関する制限を追加するものです。

(賛成多数・可決)

### 補正予算

#### ■議案第49号 平成27年度川島町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ6,939万円を増額するものです。

主なものは、地方交付税の追加、前年度繰越金の追加、財政調整基金の更正減等です。

(全員賛成・可決)

#### ■議案第50号 平成27年度川島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億5,307万円を増額するものです。主なものは、前年度繰越金の追加、償還金の追加等です。

(賛成多数・可決)

#### ■議案第51号 平成27年度川島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ172万円を増額するものです。主なものは、一般管理費の追加等です。

(全員賛成・可決)

#### ■議案第52号 平成27年度川島町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2,351万円を増額するものです。主なものは、償還金の追加、一般会計繰出金の追加等です。

(全員賛成・可決)

#### ■議案第53号 平成27年度川島町水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出のうち事業費用を67万円増額し、資本的支出のうち、建設改良費を78万円増額するものです。

(全員賛成・可決)

### 決算認定

#### ■議案第54号 平成26年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

国庫給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

#### ■議案第55号 平成26年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

#### ■議案第56号 平成26年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

#### ■議案第57号 平成26年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

#### ■議案第58号 平成26年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

#### ■議案第59号 平成26年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数・認定)

(賛成多数・認定)

## 主な議案

<p><b>■議案第59号 平成26年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について</b></p> <p>(全員賛成・認定)</p>	<p><b>■議案第60号 平成26年度川島町水道事業会計決算認定について</b></p> <p>(全員賛成・認定)</p>
<p><b>人 事</b></p> <p>(全員賛成・可決)</p>	<p><b>契約の締結</b></p> <p>(全員賛成・認定)</p>

■議案第61号 工事請負契約の締結について（町道1－23号線道路整備工事）

町道1－23号線道路整備工事の請負契約を株式会社須長建設と締結するものです。

(全員賛成・同意)

## 各議員の賛否

(○は賛成、×は反対を表しています。)

※「ー」…議長もしくは退席のため表決しておりません。

(※議員名は、議席順となっています。)

8月臨時会	議 案	審議結果													
		松原謙司	稻村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	山田敏夫	小高春雄	石川征郎
	町長提出 議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

9月定例会	議 案	審議結果													
		松原謙司	稻村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	山田敏夫	小高春雄	石川征郎
	町長提出 議案第46号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第47号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第49号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第55号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第58号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第62号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	同意

# 道路整備が始まる。町道1—23号線



新庁舎視察

## ●平成27年川島町一般会計補正予算（第2号）

公園内防犯カメラ設置はいつ頃か。

補正予算の議決後に早めに発注する予定です。

## 総合振興計画審議会を3回開くとの説明がありましたが、どのような計画を持って、町は推進を図っていくのか。

川島町の※『総合戦略』の策定を10月をめどに進めてその後、

問 道路新設改良費の町道改良工事物件補償費について、町道1—23号線の光ファイバー移設について。

答 局部的な支障物件ですが、素材がグラスファイバーのため、ケーブル延長約1km分の入れ替えが必要とのことです。

## ●平成26年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問 農地集積バンクが7・7ヘクタールから9・9へクタールになると行政報告がありました。今後、何年度までどの程度の集積バンクを目指しているか。

答 面積が7・7ヘクタールから

基本計画に入していく形で考えております。※『総合戦略』につきましては、子育て、雇用対策を重点的に進めていくことになります。

問 道路維持費について、補正予算で500万円の追加をしたいということです。

答 緊急性、安全性に対するため、補正させていただきました。

問 庁舎建設費の委託料で新庁舎建設の業務委託とは、どのような業務なのか。

答 新庁舎地中熱利用計画作成業務であります地中熱を利用するため温度が一定である地中からヒートポンプでどのくらいの熱効率が得られるなどを調査し、利用計画を作成するものです。この計画に基づく新庁舎地中熱利用設備工事とセットで平成26・27年度に補助を受けるものです。

## ●工事請負契約の締結について

（町道1—23号線道路整備工事）

問 工事はいつから始まるか。

答 1年間で試行は終わりにさせて頂いて、その試行に基づいて公共交通をいかにすべきか、現在検討させていただいております。

問 国庫補助事業とのことだが、補助率は。

答 事業費の55%です。

9・9ヘクタールに増えています。担い手ですが、2名増えて6名に、農地の出し手が6名から8名に増えています。人・農地プランの数ですが、※『総合戦略』の中では、旧村の6地区に1箇所ずつを目標としていく考えでいます。5年後の平成31年度までを目標として計画したい。



町道1—23号線（役場東側）

※『総合戦略』…「川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の略。今後の人口減少対策を推進するための戦略です。

**10月5日以降マイナンバーカード申請書が送られます**

## ●川島町事務手数料徴収条例の一 部を改正する条例を定めることに

防犯カメラを川中と西中に何所設置するのか。

ついて  
警察の指導の下に両中学校に

問 マイナンバーカードと住基カードを統一できないか。

答 同時に所持できないので、マ  
イナンバーカードを希望された場  
合は住基カードを返還していただ  
きます。

# ●平成27年度川島町一般会計補正予算（第2号）

答 建物の劣化が思つた以上に進行していることや施設の用途変更が必要なことから、設計業務委託料を追加するものです。改修費用の詳細は設計を進める中で算出していくます。

問 けやき保育園に設置する火災

**答** 通報装置とはどんなシステムか。  
火災発生時にボタン一つで素早く消防署に通報できるものです。

## ●平成27年度川島町国民健康保険 特別会計補正予算（第1号）

**答** 町の国保税の県内での位置は、県内63市町村中、高い方から2番目です。

## マイナンバーカードパンフレット



●平成27年度川島町介護保険特別  
指定旅館補助を廃止しました。

## 会計補正予算（第1号）

**問** 町の介護保険料は他の市町村と比べて高いのか。

**答** 介護保険料は、県内高額ベス  
ト10に入っています。

問　当町の介護認定率の伸びは。  
前年度比の認定率は平成24年  
度8%、25年度7%、26年度3・  
6%の伸びです。

## ●平成26年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問  
社会保障税番号制度システム  
整備費補助金（955万6千円）

整備費補助金（955万6千円）とは。

**答** 地方公共団体情報システム機構などと各市町村をつなぎ情報を

外部機関と接続できるようとする  
システム改修費用がメインです。

問 臨時福祉給付金とは。

**答** 市町村税が非課税の方が対象で、課税者の親族扶養や生活保護者を除き、給付額は1万円で、老



けやき保育園

問 齢年金受給者等には5千円の加給があります。

答 子育て世帯臨時給付金の内訳は、2251人に1人当たり1万円を給付しました。

問 単独浄化槽と汲み取り槽の数は。

答 家庭系・事業系含め単独槽約800基、汲み取り槽約200基で合わせて約1,000基です。

●平成26年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 特定健診の受診目標は。

答 平成26年度の目標は50%で今現在45%を上回っています。

# 町の考え方を問う

## 町政一般質問要旨

9月14日、15日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<b>栗岩 輝治 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校規模適正化基本方針について</li> <li>・社会福祉協議会からの寄付金4,670万円について</li> <li>・TPP交渉について</li> <li>・インターネット南開発（国道254号線沿い）について</li> </ul>	<b>小高 春雄 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の庁舎の跡地利用について</li> <li>・高齢者憩いサロンについて</li> <li>・道祖土証議員について</li> </ul>	<b>稻村 美代子 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい戸別収集について</li> <li>・地域包括支援センターについて</li> <li>・当町の学校教育について</li> <li>・国民健康保険税について</li> </ul>	<b>小峯 松治 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化対策と子育て支援について</li> <li>・学力・学習状況調査について</li> </ul>	<b>菊地 敏昭 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信力について</li> <li>・老人健康センター、「デイサービスセンター」「やすらぎの郷」の名称について</li> <li>・ごみの集積について</li> </ul>	<b>飯野 徹也 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本田飛行場の運行安全確保について</li> <li>・「トイレは町の顔」町の公衆トイレについて</li> </ul>	<b>遠山 尚 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット南側地域の開発について</li> <li>・人口減少問題の対策について</li> <li>・職員の意識改革の取り組みについて</li> </ul>	<b>新井 悅子 議員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等ディサービスについて</li> <li>・切れ目のない子育て支援ネットワークについて</li> <li>・婚姻届提出時のサービスについて</li> </ul>
--	---	---	--	---	--	---	---



### 2年後の小学校4校 統合は早急では

答 2年後には固執しない

くり わ てる じ  
岩 輝 治

答 副教育長  
新井 悅子 議員  
緑を入れ活用します。

答 副教育長  
松原 謙司 議員  
・「ふれあい施設」について  
・地域公共交通について  
・小学校の統合について

答 副教育長  
遠山 尚 議員  
・インターネット南側地域の開発について  
・人口減少問題の対策について  
・職員の意識改革の取り組みについて

答 副教育長  
新井 悅子 議員  
・放課後等ディサービスについて  
・切れ目のない子育て支援ネットワークについて  
・婚姻届提出時のサービスについて

問 4校統合でなく、2校ずつの統合をどの様に検討されたか。  
統合には地域住民の理解が必要だ。  
答 副教育長 2校式の意見もあつたが、複数クラスの確保の意味から4校とした。地域住民の協力は必要と思う。

問 統合時期を2年後とあるが、早急すぎる。いつ2年後と決めたのか。  
答 教育長 2年後には固執してない。2年後と決めたのは、昨年10月の教育委員会定例会で決定した。

問 4校統合すると、増築費用が発生する。2校ずつならば、増築費用は発生しないと思うが。

答 副教育長 4校統合すると、増築費用が発生しないと考えられる。

問 増築費用は発生しないと考えられる。  
答 副教育長 教育委員会では県下の統合例の調査を行ったが、追跡調査の実施は、追跡調査はしていない。

問 複式学級を回避する理由で統合を決めているが複式学級を実施した学校への調査、研究は行っているか。  
答 副教育長 複式学級は教師、児童への負担がかかる。ときがわ町へ状況確認に行っている。

問 3校が廃校となるが跡地利用をどの様に考えているか。  
答 副教育長 アンケート結果をもとに全序的な取組みを進めていきます。

問 保護者、住民向けアンケートを実施した結果をどう判断しているか。  
答 副教育長 回答結果を分析し基

本計画を決定していきます。

問 社協から町への寄付金の扱いは、地域福祉基金に



中山地区体育祭の様子

## いっぱい質問



川島町役場第3庁舎を  
商工会館として利用すべきでは



答

問

### インター開発の状況は

### 開発に向け邁進します

小 高 春 雄

問 南開発は、税の増加、働く場所の確保、人口増に結びつけ、活気に満ちた町づくりのため、積極的に開発に向け進めています。先人が汗を流し耕し開拓してきましたが、時代の流れとはいって、川島インターが開通し、土地活用が、流通、小売業等の開発に変化しています。新たに約70haの開発に向け県との協議状況、地権者の方々の現状、そして土地はどういう方法で開発するのか具体的に伺います。

答 副町長 現在、県田園都市づくり課と積極的に協議を進め、都市計画、農業政策との調整に向けた諸課題の整理を行っています。地権者の現状では、4月に81%の地権者の方から町長あて開発の要望書の提出がありました。開発手法は個人施行の区画整理事業を予定しています。

答 町民生活課長 現在の本庁舎、議会別館は耐震力不足のため、取り壊す計画ですが、第三庁舎は、商工会館などで利用すべきです。また、壊した後の跡地は、高速バス、東武バス等の発着地として使用し、新たな交通システムとして構築すべきと考えますが、町の考え方を伺います。

答 政策推進課長 商工会は、保健センターや内に事務所がありますので、商工会が、第三庁舎を利用するのなら、保健センターの充実も図れますので商工会と話し合いをします。庁舎跡地のバス発着地利用については、各方面から研究をしていきます。

問 平成27年4月から始まった「ふれあい戸別収集」の利用人数、利用方法、周知について伺います。

答 町民生活課長 現在、11名の方が利用されており、火曜日午前中に安否確認をしながらゴミの収集を行っています。要請があった場合は職員が自宅に伺い調査し、1~2週間後から利用が可能になります。チラシやHP、ケアマネージャーや民生児童委員の協力で周知しています。

問 利用できる世帯の条件を緩和し、申請から利用までの期間を短くするよう考えていただきたい。

答 町民生活課長 近隣の市の実施

### 「ふれあい戸別収集」 の利用状況は 毎週火曜日収集、 利用者は11名

稻村 美代子



問 答

答

問 センターア内に事務所がありますので、商工会が、第三庁舎を利用するのなら、保健センターの充実も図れますので商工会と話し合いをします。庁舎跡地のバス発着地利用については、各方面から研究をしていきます。

答 健康福祉課長 高齢者人口の増加に伴い、平成27年度~29年度内に設置をする予定です。費用、設置場所は検討中です。現在は医療法人啓仁会に委託していますが、新設については今後、検討して参ります。

答 健康福祉課長 今年度から順次予定しています。憩いサロンは各地区内に一か所以上、認知症カフェは町

例を参考にスタートした制度で、当面はこの条件で続ける予定です。利用状況を見ながら考えていきます。

問 新たに地域包括支援センターの設置を計画しているようですが、実施の予定は。現在の地域包括支援センターは民間委託ですが、新設した場合も民間委託か伺います。

答 健康福祉課長

高齢者憩いサロン、認知症カ



ふれあい戸別収集パンフレット



問

## 国保税を減税する考えは

引き下げも視野に

道 さ  
祖 い  
土 ど  
証 い  
さ  
わ

問 町の25年度納税率 77.1%、63市町村中10位。24年度特定健診率は42.2%、特定保健指導実施率40.5%でともに9位。1人当たり診療費は23年度30万9,160円が24年度は24万5,899円に下ったのに、

保険医療費の伸びもこれまでの年約5%～7%が1%前後の状況で、このまま推移すれば税の引き下げも視野に入つてくるものと、現在27年度医療費支出を注視しているところで

**答 町長** 減税の考え方については、町の国保税は県で2番目に高額です。そこで減税に対し前向きな答弁を。医療費の縮減を目指すことが先ではないかと懸命な努力をしているところです。ここ数年、本町の国民健康

#### 受診率が向上している特定検診



**答 教育長** 現在でも、ある小学校では学習ボランティアとして、教員OBの方や教員を目指している学生を授業の中でお手伝いという形でボランティアでやっていただいている学校があるので、町当局に予算面のお願いをしながら学習支援員の配置についても検討・研究したいと考えてます。



# 子育て支援日本一の かわじま町を 切れ目のない 子育て支援の実施

## 切れ目のない 子育て支援の実施

# 小峯松治

将来ある子どもたちに活きたお金を使うのは今だと思いますが、どのように考えますか。

問 町の昨年の出生数は、1118人であり、20年前の半分の数です。子育て支援日本一の川島町をPRするくらいの積極的な子育て支援が必要だと思いますが、考えをお聞かせいただきたい。

人と指揮されている町として少子化対策・子育て支援に思い切った施策を展開すべきと考えるが、町の現状・施策等をお伺いします。



乳幼兒健診



ここはどこの交差点でしょう

**問** 町の色は。

**答** 政策推進課長 町を象徴するものを持つて情報発信に努めたい。

**問** 役場の開庁時間変更後の経過は。

**答** 総務課長 6～8月まで、土曜日の利用は、6月411人、7月202人、8月195人です。

**問** 観光おもてなし事業は。

**答** 農政産業課長 サイクルラックの設置で、従来にない客層を呼び込み町の活性化とPRを図り、観光地化を目指し、平成26年度末で17件に設置しました。

**問** 避難場所の表示は。

**答** **菊地敏昭**

**問** 多くの人が見やすく理解できるように心がけます

**答** 副教育長 今後、防災、所在、航空にいかなる対応をしたのか。本田航空はいかなる安全確保の対応を取ったのか。これまで町と本田航空はどの様な協議をしてきたのか。また今後安全運航管理についてどの様に考えているのか。

**答** 政策推進課長 川島ICから新庁舎の案内表示は方が利用しやすいよう、トイレの表示方法も、統一化で検討します。

**答** 政策推進課長 図りICからの案内も整備します。

**問** 道路名称のある三路線の交差点名称プレートの設置計画は。

**答** まち整備課長 今後、国道や県道等の交差点付近に増設します。

**問** 社会福祉協議会やすらぎの郷の名称統一化の考えは。

**答** 健康福祉課長 高齢者福祉のみならず、児童、障害者福祉等総合福祉センターとしての機能を拡充した後に名称の検討をします。

**問** ごみの集積所について。

**答** 町民生活課長 現在、419ヶ所です。ごみ分別アプリの利用件数は423件です。

問

本田航空の安全運航について。さる7月26日、調布飛行場を離陸した小型航空機は、直後住宅街に墜落炎上し、住宅1棟全焼、8棟が一部延焼しました。住民1名を含む3人が死亡するという大きな事故が発生しました。

当町にも本田飛行場があります。今回の調布の事故を受け、町は本田

## 本田航空の安全対策は

**答** 定期的な安全協議を行っていく

いい飯の野徹也

**答** 町長・町民生活課長 事故を受け町は本田航空にヒアリング調査を行い、本田航空の事故に対する対応を確認した。今後、桶川市とも連携し、定期的な安全運行管理に関する協議を本田航空と行つていただきたい。

**問** 町の公衆トイレについて。

**答** 町長・町民生活課長 町でも来町した方が快適に過ごすとのできる環境整備として、公園のトイレや公衆トイレの管理と今後の施設整備の方向は。

**答** 町長 町内には、公園内のトイレなど13か所の公衆トイレがあり日常の清掃等はシルバーセンターに委託している。現在各課に分かれた管理の見直し、洋風便器への改修整備、利用状況などを考慮し廃止も含め快適な環境整備をしていく。

本田航空の所有機

11

川島町議会だより／No.111／平成27年10月23日



開発区域（国道 254 号）周辺



答

問

## 川島インター南側地域の開発は

**目標に全力で取り組む**

遠山尚 とおやま たかし

伊草地区地権者会が設立され  
から、早いもので足掛け 10 年が経過  
しています。まちづくり 3 法が改正  
されて以来、調整区域の大型開発は、  
大変苦戦してきましたが、県当局で

は現在、第 7 回目の区域等の見直し  
候補地区の選定作業に入っていると  
聞いておりますが、インター南側開  
発の現在の進捗状況についてお伺い  
します。

答 町長

平成 27 年 11 月には、桶川  
北本インターと白岡菖蒲インター間  
が開通する事で、県内が全線開通と

なり、各高速道路とのネットワーク  
ができることで、川島インター南側  
地区はこれまで以上に土地利用に関  
するポテンシャルが高まります。

また、開発により雇用の確保や税  
収の増加に寄与することとなり、町  
の活力あふれる元気な未来を開き、  
引き続き活力ある川島町づくりを目  
標に全力で取り組んでまいります。

問 人口減少問題についてお伺いし  
ます。川島町の出生率も平成 24 年、  
25 年と低下していると聞いておりま  
す。町としても、大変大きな課題で  
あり、今後どんな対策が考えられる  
かお伺いします。

答 町長

の拡大を実施し、子育て世帯への經  
済的負担の軽減を図ります。

問 職員の意識改革の取組みについ  
てお伺いします。

答 町長

職員と直接意見交換を行  
い、相互の信頼関係を構築し、一丸  
となつて行政に取組んでいきます。

問

## 池袋行きバスの テスト運行をしてみては 長距離バスの 運行は難しい



答

まつ 松 原 謙 司

問 公約のふれあいパークは、どの  
ような施設をイメージしていますか。  
答 町長 インター南開発と平行し  
て検討。地域コミュニティの活性化  
の結びつきを創造し、農作物や農村  
のよさに触れることができ、人が集  
うことのできる複合施設をイメージ。  
問 町バスのテスト運行を、今一度、  
行う予定はありますか。

答 政策推進課長 地域公共交通会  
議に諮り、実証実験が必要と決議さ  
れれば、第 2 次のテスト運行の実施  
は想定されるが、現段階では未定。

問 川島町発池袋駅行きのバスを実  
行する予定はありますか。

答 政策推進課長 長距離バスの運  
行は難しい。

問 路線バスのバス停の中には、バ  
スを待つには危険なバス停もありま  
す。整備状況についてお伺いします。

答 政策推進課長 安全面等から整  
備をすることが望ましいバス停もあ  
る。東武バスへの要望を続ける。

問 小学校の統合について、引き続  
き意見を収集していく予定はあるか。  
答 政策推進課長 安全面等から整  
備をすることが望ましいバス停もあ  
る。東武バスへの要望を続ける。

問 教育長 学校規模の適正化は地  
域の皆様の協力があつて実現できる。  
アンケート結果にあわせ基本計画の  
説明会を実施し、その機会を通じ、  
意見を賜りたい。

問 個性的で特徴のある学校運営を  
し、全国から入学希望者が集まつ  
くるような学校にしてはどうか。  
答 教育長 法の範囲内で特色ある  
学校運営ができるとを考えている。

都心への直通バス運行の  
テストをしてみては

## いっぱい質問



かわじま子育て応援プラン

※ネウボラ・フィンランド語で「助言の場」の意味で、フィンランドの出産・子育て支援策を指し、妊娠から子供が就学するまでの相談や支援を切れなく支援する制度のこと。



答

問

### 放課後等デイサービス事業は

新井 悅子

事業所と連携して支援します

障がい児童等への療養保育室が社会福祉法人ウイングにより開設されます。町としての支援はどのように考えているのか。

答 健康福祉課長 平成28年4月から放課後等デイサービス及び障がい者用ショートステイの事業開始が予定されています。国の予算の関係で補助金が大幅減額になったと聞いています。

答 町長 施設建設には国・県の補助金と施設事業者が費用を負担し建設します。補助金に影響を及ぼさない範囲、内容で支援をと考えています。

問 妊娠、出産期から育児期までの子育て支援策を充実させ、総合的な相談や支援体制をワンストップでする※ネウボラについて町の取組みは。

答 子育て支援課長 母子保健事業を通じて、妊娠期の支援に努めていますが、総合的な支援窓口ときめ細かな支援を行えるように検討します。保健師や助産師は何人か。

答 子育て支援課長 常勤の保健師6人、助産師は0人です。人材確保を庁内で協議していきます。

#### ●政務活動費

議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会議員に対し、政務活動費が交付されています。川島町では条例に基づき、議員一人につき年額4万円（月額3333円）が交付されています。

#### ●費用弁償や議員年金

議員が議会の本会議や委員会に出席した場合の費用弁償は、平成19年3月定例会において廃止されおり、支給されておりません。また、議員年金制度についても平成23年に廃止されています。

## 議員の政務活動費は月額では3333円

### 一部事務組合議会からの報告

## 比企広域市町村圏組合議会

石川 祥郎  
栗岩 輝治

比企広域市町村圏組合議会は東松山市、小川、滑川、嵐山、川島、吉見、ときがわ各町、東秩父村の8市町村で構成されています。

川島町からは石川議員、栗岩議員が選出されています。

一般質問は、蓮見節氏（東松山市）が「東松山市民斎場設備基本計画」について行いました。

監査委員に川島町選出の石川議員が選出されました。

主な議案は、平成26年度一般会計の決算、平成27年度一般会計補正予算、特別会計補正予算などです。

新斎場は4年後の平成31年度から開場の予定です。総額予算は29億5千万円で川島町負担は3億円の予定です。

（栗岩）

## ◆総務経済建設常任委員会所管事務調査 農家出資の株式会社による大規模複合経営についてと 総合窓口サービス、デマンド交通についてを調査

①調査期間：平成27年7月2日（木）～3日（金）  
②視察地：新潟県十日町市・三条市

### ■農家出資の株式会社による大規模複合経営について

#### 模複合経営について

新潟県十日町市千手地区では、平成17年3月に生産組合や機械利用組合を母体として、11集落、347名の全農家が参加する株千手を設立しました。

現在は常時雇用23名で、地区内農地の約7割の約270haを力バーする水稻等の土地利用型経営に加え、稻作の農閑期の労働力や温泉熱、もみ殻の地域資源を活用



株式会社 千手

三条市では、平成22年10月から、タクシーによるデマンド交通手法を全市に展開しています。その概要は、停留所設置型フルデマンド形式で、予約は利用の1時間前まで、停留所は概ね半径300m以内の区域をカバーできるよう614箇所を設定し、運行時間は平日の午前8時から午後6時の間で運行しています。

平成23年4月からの本格運行開始以降も利用者は増加傾向で、平成22年12月と平成25年12月を比較すると、一日当たり約1・6倍の477人となりました。

しかし利用者の増加に伴い、行政負担額が月に677万円と増大し、市の財政を圧迫するという問題が発生したため、平成26年1月から300円から500円にするなど、運行距離に応じて200円から500円の運賃の値上げを行いました。それでも利用者アンケートでは、8割が満足と回答し、運賃の値上げについても約7割がやむを得ないという回答でした。

農家出資の株式会社による大規模複合経営について調査をしてきました。川島町でも農業人口も減少しているなか、農業問題は喫緊の課題となっています。農地を守っていくために、町が中心となつて農地中間管理事業を活用して貸付希望者と借受希望者の調整をすることと併せて、大規模農家を育成するための支援や、農家出資による大規模複合経営も、研究していくかなければと思いました。

### ■デマンド交通について



## 廃校舎利用についてと小中一貫教育についてを調査

①調査期間：平成27年7月15日（水）～16日（木）  
②視察地：石川県珠洲（すず）市

### ■廃校舎の利用について

珠洲市では、金沢大学と連携して平成11年に廃校となつた旧小泊小学校を金沢大学の「能登学舎」として利用し、里山里海の将来を担う人材づくりや地域課題への対応など、教育研究や人材育成、交流促進事業に取り組んでいます。

珠洲市になつた理由は、若者の流出を防ぐために高等教育機関として空き校舎を活用したい市と、地域貢献の本気度を示す姿勢とし

て、訪問型でなく常駐型の学舎で、里山里海テーマを具体化したいと、いう大学の考えが一致した結果とのことでした。

プログラムの内容は、45歳以下の社会人を対象に、月2回の講習を行い、修了者には金沢大学学長より、直接認定証が交付されます。

平成19年から5年間で「能登里山マイスター」として62人の修了生を輩出し、その内14人が石川県外から移住しています。またその内11人が奥能登に定住しています。

受講生、修了生の支援体制としては、就農・起業支援組織の設立や、異業種交流会などを開催しています。異業種交流では、酒造会社に勤務する受講生と、地元で棚田米を栽培する修了生の農家がコラボして酒米を栽培し、棚田の耕作放棄地での酒米栽培プロジェクトが組織化されたとのことでした。

### ■小中一貫教育について

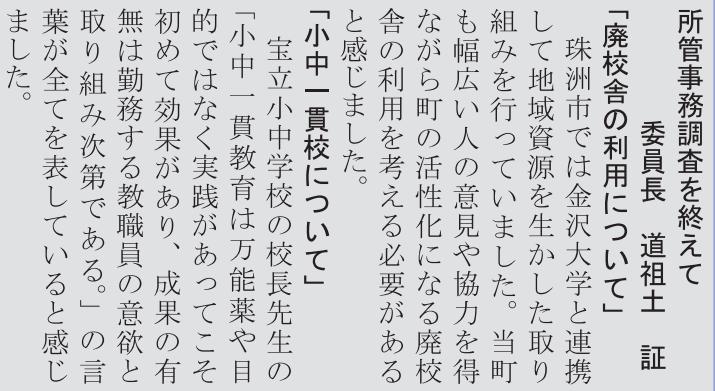
珠洲市では、人口減少に歯止めがかからず、学校の統合を繰り返してきました。そのため平成20年に今後の人口減少社会における

校教育のあり方を検討し、教育委員会が「学校統合問題及び今後の望ましい教育環境」として、市長へ答申を行いました。

その概要は、「豊かな人間性と自立心を育む珠洲市の教育の推進にあたり、小・中が緊密に連携し義務教育9年間を見通した一貫性のある教育を行うとともに、地域に根ざし開かれた学校づくりをよし一層推進する。1中学校に1小学校しか存在しない3つの地区においては、学校施設を小中に併設し、より積極的に一貫した教育の実現を目指す」というものでした。

珠洲市の小中一貫教育の特色は、①「4・3・2制」の導入、②文部科学省特例校（英語）③「ふるさと珠洲科」④異学年交流機会の増加⑤兼務辞令の発令による人事交流と授業の充実です。

一貫教育の説明会時の保護者の意識としては、期待より不安が大きい様子だったが、宝立小中学校を実際に見てもらうことで、理解が進んでいるとのことでした。



宝立小中学校（9年生の教室）

## 議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では左記の日程で所管事務調査を行います。詳しい内容については次号で報告いたします。

日 程 平成27年10月27日～28日  
視察先 岐阜県菰野町

視察内容 議会活性化の取組み

### 議会を 傍聴しませんか？

- 誰でも議会を傍聴することができます。
- 議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

議会日誌	
8月	
27日	8月臨時会 議会運営委員会
9月	
3~16日	9月定例会
16日	議会運営委員会 議会報編集委員会
10月	
5日	議会報編集委員会
8日	議会報編集委員会
11日	第47回町民体育祭
20日	埼玉県町村議会議員研修会
27~28日	議会運営委員会所管事務調査



11月27日(金)  
次回12月の定例会  
開会予定です。

この彼岸花は暦を見ているか  
の様に、9月の秋彼岸前に必ず  
赤い花を咲かせる。緑一面の堤  
防の上を真赤な絨毯を敷いた様  
に景観が大変美しく、秋の撮影  
シーズンを迎えると多くの写真  
マニアがカメラを向ける花であ  
る。この彼岸花は書物によると、  
彼岸花科の多年草で、有毒植物  
の一種で、堤防、山麓、田畔、  
墓地などに生える。地下茎の植  
物である。有毒植物の為、もぐ  
り、ねずみ等の小動物が土の中  
に入つてこない為に、堤防、田  
畔等に多く植えられ、農作物を  
守る役をしているという。  
(文章・写真/遠山)

## 表紙解説

## 編集後記

季節の移り変わりは早いもので、  
田んぼが一面に青々した早苗から一  
面の黄金色に、今では稻刈り後の穂  
田に変わり、晩秋の装いを呈してい  
ます。

4月の町議会議員選挙から、6月、  
9月の議会定例会を経て、新人議員  
も多少慣れきました。9月議会で  
は、新人議員4人を含む10人が一般  
質問に登壇し、町行政全般について  
議会は、地方自治制度の二元代表  
制(長と議会)の一方を担い、町民  
の声を町政に反映し、町の意思を決  
定する議決機関です。議員として町  
民の付託に恥じないよう、襟を正し  
ていきます。

相談役 委員長 副委員長  
石松 稲 小 遠 新 飯 野  
川原 村 峯 山 井 野  
征謙 美代子 松 悅 徹  
郎司 治 尚 子 也

議会報編集委員会  
(小峯)